

DXで「みやぎ」が変わるー!

「DX」とは?

DXという言葉を知っていますか? DXとは、「デジタル・トランスフォーメーション」の略称で、デジタル技術を活用し、生活をより良いものへと大きく「変革」する取り組みのことです。

新型コロナウイルス感染症への対応では、データが十分に活用できないことやデジタル機器の操作に不慣れなことなど、さまざまな課題が浮き彫りになりました。

こうしたデジタル化の遅れに速やかに対処し、県民の皆さんがデジタル化の恩恵を受けられる社会を実現するため、デジタル技術の活用により、単なる業務改善や効率化にとどまらず、既存の制度や組織の在り方などを見直し、変革していくDXが求められています。

情報化政策の基本方針

県は、デジタル化に関する県の政策を力強く推進していく決意表明として、令和2年9月に「みやぎデジタルファースト宣言」を行いました。さらに、令和3年4月、この宣言に基づいて、県の情報化政策の基本方針である「みやぎ情報化推進ポリシー(2021〜2024)」を策定しました。

みやぎハッカソン2023

今後マイナンバーカードとスマホアプリを柱にしながらDXを進めていくためには、アプリの魅力を向上させ、利用する人がどんどん増えるような素晴らしいアイデアを幅広く求める必要があります。その一つの手法として「ハッカソン」という取り組みを実施しています。

「ハッカソン」とは、高い技術力を駆使してシステムを開発する「ハック」という言葉と、「マラソン」を組み合わせた言葉です。特定のテーマに対して、ソフトウェア開発の関係者がチームを組み、一定期間、集中的にアプリの開発などを行って、その成果を競うイベントです。



3月2日から4日にかけて、「みやぎハッカソン2023」を初めて開催しました。

エンジニアリング能力を試したい全国の大学生など71チーム322人から応募があり、選考された10チーム50人が2泊3日の合宿形式でアプリ開発に挑戦しました。

最終日には、著名な技術者や経営者を審査員としてお招きし、その方々の前でプレゼンテーションをするコンテストも実施しました。

この「ハッカソン」では、「ICTで暮らしを便利にする『DXみやぎ』の推進」をテーマに、スマホ一つでいろいろなサービスが受けられる仕組みづくりやマ



アプリ開発 プレゼンテーション

イナンバーカードとの連携などを、熱意あふれる学生チームに形にさせていただきました。

この取り組みが、県民サービスを向上させる魅力的なアプリ開発と起業家の育成につながることを期待しています。



審査員からの質疑応答 開発アプリ見学

「みやぎハッカソン2023」コンテスト結果

最優秀賞

チーム名 笹かまぼこ

「babyC」

育児の不安をAIが解消する日記型の母子手帳サービス。AIが日記を分析し、適切な情報、アドバイスを提供する。

優秀賞

チーム名 conflict (コンフリクト)

「MITELOG」

ボランティアの参加証明書やTOEICの資格などを一元管理するサービス。就活などにおける受入先との円滑なマッチングが期待できる。

マイナンバーカード賞

チーム名 青翠のまじんこ (せいすい)

「SPOT本人確認」

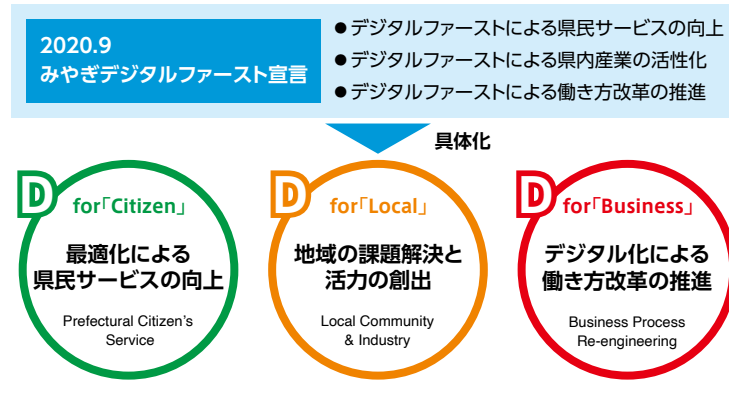
マイナンバーカードとQRコードを活用して、民泊や物品レンタルなどで、顧客の本人確認を手軽に行えるサービス。

詳細は県のホームページでもご覧いただけます。興味・関心をお持ちの方は、ぜひ「みやぎハッカソン」で検索してみてください。



みやぎハッカソン | 検索

デジタルファースト宣言を具体化した重点目標「三つのD」



DXによる「変革みやぎ」の実現に向けて

この基本方針では、「最適化による県民サービスの向上」「地域の課題解決と活力の創出」「デジタル化による働き方改革の推進」の三つの重点目標を掲げています。誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを行い、みやぎのデジタル化を推進していきます。

デジタル技術を活用した取り組みとして、県は、これまで、スマホ決済を利用した県税の納付や、AIマッチングシステムを活用した婚活支援などを行ってきました。

今後、県民一人一人がそれぞれのニーズに応じてデジタル化の恩恵を受けられるよう、デジタルデバインド(情報格差)対策やオープンデータの利活用などを進めていきます。

マイナンバーカードとスマホアプリの活用

昨年10月、マイナンバーカードに記録されている「氏名や住所」などの情報を基に、避難支援アプリを使った原子力防災の住民避難訓練を行いました。避難支援アプリを利用することで、紙で記入する従来の方式から、避難所の受付時間を大幅に短縮することができました。

このように、マイナンバーカードとスマホアプリを活用し、県民の皆さんに便利だと思っただけでなく、取り組みを進めていきます。

マイナンバーカードは、DXを推進していく上で基盤となります。今後、利用場面が増えていきますので、まだマイナンバーカードをお持ちでない方は早めの申請をお願いします。



避難支援アプリを使った原子力防災住民避難訓練の様子

問 DXについて……………デジタルみやぎ推進課 ☎022(211)2481

問 みやぎハッカソンについて…産業デジタル推進課 ☎022(211)2478